

教員名	高橋 克幸	所属学科	経営学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>会計情報を用いたデータ分析を行います。興味のあるテーマについて、データを収集します。そして統計ソフトを利用して、構築した仮説を検証していきます。例えば、会計利益が報告された際、株価がどのように変化するか分析することにより、会計が利害関係者の意思決定に有用なのかという観点から検証します。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>会計は世界の共通言語の1つとして利用され、江戸時代から続く老舗企業も皆さんが製品・サービスを利用しているシリコンバレーのハイテク企業も同様の会計を行っています。また地方自治体や国を対象とした公会計という分野もあります。会計学を学習・研究することで、社会の活動を会計の観点から考えることができます。基礎演習では会計学の復習を行った後、統計ソフトの使い方、統計学の復習を行います。次に会計情報を用いた分析など、統計的な分析を演習していきます。演習Ⅰでは、前期は論文執筆に必要となる、テーマの設定、文献の調査、データ分析といった手順を確認しながら、それぞれの課題について報告していきます。後期はグループ毎に1つの研究論文（進級論文）の完成を目標に、研究発表を繰り返して、研究を進めていきます。演習Ⅱでは、基礎演習および演習Ⅰを通じたゼミの集大成として、会計学に関する実証研究を行い、卒業論文を作成することを目的としています。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>本ゼミでは会計情報を用いた実証分析を行います。仮説を構築そして実際の企業の会計データをデータ・ベースから取得して、分析を行う実証分析の手順を学習します。その際に統計ソフトを利用します。最近「データ・サイエンス」という言葉が流行しており、会計に限らず、様々な分野で統計分析が用いられています。ゼミで学習・研究を行う、仮説を構築して実際のデータを用いて分析する、という経験は将来的に役に立つ可能性があります。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>渡邊泉. 2017. 『会計学の誕生——複式簿記が変えた世界』岩波新書.  田村威文・中條祐介・浅野信博. 2021 『会計学の手法(第2版)』中央経済社.  S.H. ペンマン. 2018 『アナリストのための財務諸表分析とバリュエーション』有斐閣.</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>大学生活は高校までと比べて比較的自由に時間を使えると思います。学習・研究でも楽しみ、充実した学生生活を送ってください。</p>			